

# わが人生を振り返る

座間市 入澤 彰仁

## 投稿

昭和25年6月10日に生を受けた。第二次世界大戦が収束した5年後である。それぞれ2歳違いで二人の姉がいて、末っ子、長男である。そのため、父親はまさに舐めまわすかのように可愛がってくれていたようだ。出生地は若松市(現・北九州市若松区)であったが、父親の仕事関係で若松から佐賀県、熊本県(坪井町)、同じ熊本県の大江町、宇都宮市、横浜市戸塚区と各地を転々とした。小学校でも4回ほど転校をした。

その頃の思い出で強く印象に残っているのは、坪井川の氾濫だろう。熊本市中央には白川という河川が流れている。その支流の一つに坪井川があり、いわゆる暴れ川で氾濫を繰り返していた。小学校1年の時、梅雨末期の大雨で坪井川が氾濫



お誕生日会での入澤少年(中央)

### 戸塚に定住を決意

宇都宮に引っ越してから、父親もこれ以上転校を繰り返すと子どもたちの教育にも影響を及ぼす可能性から、戸塚に定住を決意した。昭和34年頃、近所では昭和34年頃、近所ではほとんどの人がテレビを購入した。近所の人々が毎晩のように、自宅に来ては皆でテレビを楽しんだ。今では考えられない風景であったと思う。映画「ALWAYS 三丁目の夕日」の世界だ。巨人、大鵬、卵焼きの言葉通り、その頃から野球に熱中。日が暮れるまで野球ばかりをやっていた。

### 先輩がいない! 一期生は四苦八苦

その当時の教授陣は若く、医学教育の熱意に満ち溢れていた。我々も教授陣の期待に応えたいという思いが強くあった。中学生、高校生の時あまり猛烈に勉強した記憶がないが、大学入学後はよく勉強した。医学書は原著で買うと異常に高い。我々は「アジア版」をよく学んだし、よく遊んだ。中でもヨット部の活動を行っていた。

### 転動の日々再び

入局してからは朝6時に大学医学部の間に、1カ月前ではあるが東京理科大学理学部応用物理学科に入学していた。金銭的な理由から一浪以上はさせない、という親の意向があったからだ。昭和45年に東京理科大学入学後、一月過ぎた時

点で川崎医科大学(岡山県)、杏林大学、北里大学と三校の新設医科大学が学生募集を行う、という情報が入ってきた。ものは試し、と思い、杏林大学、北里大学の両校を受験したところ、両方とも合格してしまった。実家から通いやすいという理由で北里大学入学となった。従って、我々一期生は昭和45年6月入学となった。

「Textbook of Pediatrics」とかChristopherの「Textbook of Surgery」等である。今でも大切に保存してある。それにしても、一期生というのはいきつかった。自分などのレベルに比べれば医師国家試験に合格するかという「前例」がなかったのだから。アメリカでのレジデントのためのECFMG(外国医学部卒業生用米国内臨床医師許可証)もクラスの大半が受験した。多くは「Medical Portion」は合格、「English Portion」は不合格であったが、機会さえあれば他流試合を行った。そのような環境下で学生時代に志の繋がり、絆は深い。よく学んだし、よく遊んだ。中でもヨット部の活動を行っていた。



中学時代

その次はまた手術、当直を繰り返した。ひどいときは1カ月前家に帰れず、妻に下着の着替えを病院まで持ってきてもらうという生活をしてきた。患者さんからは「先生、いつ家に帰っているのですか?」とよく聞かれた。医者になれば転勤などないと思っていた。ところが、麻酔科の研修のため山梨へ、次に聖隷浜松病院心臓血管外科、北里大学に戻り、その後は沖縄病院出向、昭和61年に北里大学病院救急救命センターができた際に指導医として逆戻り。今度はアメリカニューヨーク州立大学へ留学、2年後再度逆戻りで、出生してから15

だ。中でもヨット部の活動では、夏休みは家にいたのが一週間位で、あとはほとんど合宿生活だった。下級生が持ち回りで食事当番を行い、上級生はヨットに乗っていればよかった。夏休みの終わりがころになると、顔も体も真っ黒、白いは歯だけという状況である。従来より物理学が好きで、心臓血管外科医になりたいと思っていた。当時は東京女子医科大学日本心臓血圧研究所が心臓外科の中でも症例数が飛びぬけて多く、この教室に行きたいと考え、面接に行った。その当時の医局長はE講師で出身大学を聞いてきた際に「ああ、北里大学ね。うちの関連病院だね」と言ってきた。私は立腹、瞬間的に席を立って外へ出て行ってしまった。結局、母校の教室に残ることになった。

## 開業医の長年の「声」をもとに

医師・歯科医師のライフプランに合わせた「**会員限定の共済制度**です」

**2011年度より 保険医年金**

予定利率がさらにUP!

**予定利率1.259%**

さらに、決算で配当金があれば**配当上乘せあり!**

※平成24年9月1日現在、予定利率は、今後の経済情勢の変動等により将来変更される場合があります。

**確定年金だから安心**

掛金を原資に給付されるので、受給者が増えても給付金は減りません。加入者様に万一の場合があってもご遺族が全額受け取れます

**自由なご活用で便利**

- 無理のない月々1万円からのお積立(最高30口まで)
- 急な出費の対応に一時受け取り(一口単位の払出しが可能)
- 掛金の払込み中断・再開も可能
- 年金開始年齢は自由に設定(加入時に決めていただく必要はありません)

**引受会社7社の分散運用で安全**

引受保険会社	三井生命保険株式会社(幹事)	34.19%
	明治安田生命保険相互会社	32.91%
	富国生命保険相互会社	14.90%
	日本生命保険相互会社	10.00%
	太陽生命保険株式会社	5.00%
	第一生命保険株式会社	2.00%
	ソニー生命保険株式会社	1.00%

加入者全国**56,000人!** 日本最大規模の団体年金制度

お申込締切は**10/25** まで

今すぐCHECK

**保険医年金**

- 今入っている年金保険だけでは不十分
- 積立はしたいが高額だと...
- 急な出費に対応したい
- まだ年金保険に入っていない

**グループ(生命)保険**

- 今入っている生命保険だけでは心配
- 保障を増やしたいが保険料が高いのは...
- 子どものため、配偶者も保険に加入させたい
- まだ生命保険に入っていない

**グループ(生命)保険**

告知審査のみで加入OK

加入する際、医師による審査はありません

**配当率65%!**(平成23年度)

※年間にお支払いいただいた保険料の65%を還元

余剰金は配当金として加入者へ還元されます

1年ごとの収支計算、剰余金が発生した場合

**配偶者・お子様も加入OK**

1年更新型だから「毎年見直し可能」。すでにご加入の先生も保険額の増額ができます

**引受会社5社の分散運用で安全**

引受保険会社	富国生命保険相互会社(幹事)	44.29%
	三井生命保険株式会社	33.96%
	明治安田生命保険相互会社	10.00%
	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	8.35%
	東京海上日動あんしん生命保険株式会社	2.40%

“もしも”に備えて残された“家族”へ大きな愛を

随時加入可能

街の開業医・歯科開業医の団体 **神奈川県保険医協会** ひとつでもあてはまった方は **ご相談ください!** TEL 045-313-2111